

子育てと教育・福祉の充実をめざします

神戸市会議員 (東灘区選出)

やの こうじ

市会報告

事務所：神戸市東灘区御影中町 2-8-3-207
TEL/FAX 078-841-2255
✉ yano.koji2018@gmail.com
市会議員団ホームページ▶<https://kobe-miraisig.jp/>

市会議員団ホームページ

編集・発行：こうべ未来 市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

令和6年【第2回定例市会】決算特別委員会 日程(9月25日～10月11日)

先日の決算特別委員会にて、環境局、福祉局、健康局に対し質疑を行いました。市民のみなさまから届く様々な「各種お問い合わせ」の早急な解決に向けて、継続して本市に声をあげています。引き続き、小さなお声にも寄り添いながら、安心・安全な神戸・東灘のまちをめざして、全力で取り組んでまいります。



質疑の様子

環境局への質疑 (9月25日)



質疑の様子

1. クリーンステーションの管理 (1)カラス対策について

質疑 カラスネットの配布に加えて、折り畳み式ネットボックスの試行的設置が進められているが、カラス対策を今後も重点的な取組みとして進めるべきでは。

答弁 他都市の取組も研究しながら効果的な対策を検討し、ごみ出しルールの啓発も粘り強く行っていきたい。

要望 カラスの件、外国人のごみ出しルールも合わせて、区民から多くの相談を受けている。しっかりと声を聴いて、改善につなげていただきたい。

2. クリーンステーションの管理 (2)外国人のごみ出しルールについて

質疑 外国人住民に対するごみ出しルールの啓発に向けて、外国語の看板設置を個別対応ではなく全市的に推進すべきでは。

答弁 今後も個別のステーションの相談にもしっかりと応じながら、より伝わりやすい、また理解しやすい内容・方法等を研究し啓発に努めていきたい。



夜間のごみ出しの様子

要望 私が利用するごみステーションでも、収集日の前夜にごみが捨てられている。ごみ袋に6種類の言語記載があるように、現状の看板にも多国語対応を、早急に取り入れるように強く要望する。

3. 食品ロス問題 (1)フードドライブについて

質疑 未実施のスーパーや他業種店舗、公共的な施設を含め、今後のフードドライブの拡大展開については。

答弁 今春に立ち上げられた「こども地域応援ネットワークKOBE」とも連携をしながら、より効果的に事業を展開していきたい。



こども地域応援ネットワークKOBE



フードドライブ回収ボックス



フードドライブ

要望 食品が真に必要としているところに届くことは大切な観点である。食品の回収場所の増設をがんばっていただきたい。

4. 食品ロス問題 (2)てまえどりについて

質疑 「てまえどり」の店舗数の拡大とともに、来店者の目に留まりやすい啓発を工夫すべきでは。



てまえどり



答弁 ホームページやイベントでの周知啓発、ステッカーの配布やポスター掲示、音声案内での周知啓発を行っていききたい。

意見 環境学習の一環として、てまえどりのマンガ等を広報こうべで取り上げることも検討してはどうか。

5. 喫煙所の整備について

質疑 主要な駅前の再整備に合わせ、路上喫煙禁止地区に限らず喫煙所を整備するべきでは。



答弁 都心・再整備事業と併せて、新たに建設されるビル内へ喫煙スペースを確保する働きかけを行っている。

要望 ご家族との外出や買物の際に、愛煙家の方が安心して一服できる喫煙所の開設を、民間事業者の協力を得ながら進められたい。

福祉局への質疑 (9月27日)

1. 食支援:民間団体への運営支援について

質疑 食支援を通じた生活相談を実施する民間団体に対して、さらに運営支援を強化すべきでは。

答弁 悩みや好事例を共有する意見交換会の開催等を通じて、引き続き支援団体への伴走型の支援を続けていきたい。

要望 物資が滞って廃棄に至らぬよう、水道のように隔々まで行き渡る支援をお願いしたい。



地域団体による支援

2. こども・若者ケアラー：民間事業者との更なる連携について

質疑 こども・若者ケアラーの支援は、行政の取組みだけでは限界もあり、協力を得られる民間事業者を積極的に開拓し、支援を充実させていくべきでは。



こども・若者ケアラー

答弁 今後もあらゆる機会を通じて、積極的に民間企業と連携し、支援の充実を図っていききたい。

要望 多くの支援の選択肢があるほうが、こども・若者ケアラーにも有難い。開拓の推進を引き続きお願いしたい。

3. 市有地を活用した障害者向けグループホームの整備：公募の進捗状況について

質疑 グループホームが地域と共存していけるように、市がより積極的に周辺住民へ丁寧な説明を行うよう、今年2月の本会議で求めたが、その後の進捗は。



答弁 市営魚崎新堀住宅跡地を整備用地として、現在、公募に向けた準備を進めている。5月下旬に説明会を2回開催し、グループホームの現状や整備する目的・内容等を説明した。

意見 今回の事例を踏まえ、グループホームの整備が進まない地域については、今後も積極的に市有地の活用を検討すべきである。

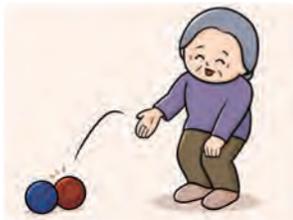
4. つどいの場の拡充について

質疑 東灘区の渦森会館では、ボッチャなど無料で老人が集えるイベントを実施している。交流を介して利用者の健康づくり・社会参加につながる場を拡充していくべきでは。



つどいの場

答弁 健康づくりだけでなく、人と人の交流を通じて、見守り、支え合う機能を地域に広げていくことを今後も継続していききたい。



要望 みなさんと集いたい気持ちはあっても、会場へ行けない方への移動手段も検討いただきたい。

健康局への質疑 (10月4日)



質疑の様子

1. 来年度からの小学校でのフッ化物洗口の全校展開について

保護者等への周知方法

質疑 フッ化物洗口の希望申込みの際に、保護者への説明をどのように実施するのか。



フッ化物洗口

答弁 教育委員会とも十分に調整した上で、健康局が主体となって、全校で説明会を開催していききたい。

要望 子どもたちや保護者が、納得して判断できる全校展開に繋げていただきたい。

2. こうべ食フレ!サイトの活用について

質疑 老若男女が活用できるサイトであるが、PRはしっかりできているのか。



こうべ食フレ!

答弁 自分の体や食生活に関心を持つきっかけの一つとして、より多くの方々にサイトの周知をしていきたい。



あなたの性格タイプは

要望 あなたの性格タイプも診断できる「神戸名物グルメ診断」など、サイトの周知を頑張ってください。

3. ペットとの同行避難について

質疑 ペットを飼っている方もペットも、ともに安心して避難所で生活できる仕組み作りが必要ではないか。



ペットの防災対策

答弁 災害時のペットとのガイドラインを実効性のあるものにし、安心して避難行動がとれるようにしていきたい。

意見 災害時にペットがいるために避難所に行けなかったり、車中泊を選んだりするケースが増えている。避難していれば守られた命を失うことを一番懸念している。

4. 能登半島への災害派遣支援について

質疑 阪神淡路大震災を経験した本市として、被災地に寄り沿った末永い支援を続けるべきではないか。

答弁 被災地の復興状況や先日発生した能登半島豪雨の状況も確認しながら、保健師の派遣を検討したい。

要望 輪島市や珠洲市など、職員が少ない地域で大地震が起これば、初動対応や対策の提案が困難である。神戸市としてできることはしっかりとやっていただきたい。

安心・安全、より快適に【六甲アイランド】

1. ファッションマート「市内3か所目のコワーキングスペース」が来年2月開設に



あすてっぷコワーキング 六甲アイランド

議場での質疑から (令和4年10月11日)

質疑 保育機能のある利便性の高いコワーキングスペース※を、各区に設置するなど、拡充をさらに図るべきでは。六甲アイランドから中央区にあるコワーキングスペースまでは交通費もかかり、遠くて諦めてしまう可能性からも増設をお願いしたい。

※コワーキングスペース…基本設備を共有しながら仕事をする場所

2. 真っ暗だった交差点に街頭を設置 (令和6年5月から供用開始)

3. ファッションプラザ東側の南北歩道の改修 (令和6年9月に工事完了)



2. 六甲アイランド運動公園の北東交差点



3. 歩道の改修